

長久手市地球温暖化対策実行計画 -区域施策編-

【概要版】 2026年度～2030年度

長久手市では、長久手市地球温暖化対策実行計画-区域施策編-を策定し、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとすることを目指しています。



1. 計画の役割 (本編P.6～8参照)

地球温暖化対策実行計画-区域施策編-は、温室効果ガスの排出抑制に係る対策・施策及び各主体（市民・事業者・行政）の役割等を定義するとともに、それぞれの取組の啓発、促進を図り、毎年度、本市の温室効果ガスの排出削減の進捗状況を見ながら、2013年度を基準とした温室効果ガスの排出量を2030年度までに46%削減、2050年度までに実質0（ゼロ）にするものです。

2. 地球温暖化の現状 (本編P.1～5参照)

地球温暖化とは地球表面の大気や海洋の平均温度が長期的に上昇する現象です。すでに平均気温は上昇しており、極端な高温の頻度も増加しています。人間の活動による温室効果ガスの増加が、20世紀半ば以降に観測されている地球温暖化の主要な原因である可能性が非常に高いとされています。

このまま温暖化すると？

現時点を超える追加的な緩和策を取らなかった場合、次のように予測されています。20世紀末（1980～1999）を基準としたとき、21世紀末（2076～2095）までに…

- 日本の年平均気温は約**4.5℃**上昇。
- 年間の猛暑日（日最高気温35℃以上）が東海地方で**23.2日**増加。
- 暑熱による死亡リスク、熱中症が**2倍**に増加。
- 洪水、土砂災害が**増加・激甚化**。
- コメの**収穫3割**減少。
- 熱帯・亜熱帯サンゴ礁が日本近海から**消滅**。

参考：日本の気候変動2025（2025.3 文部科学省 気象庁）



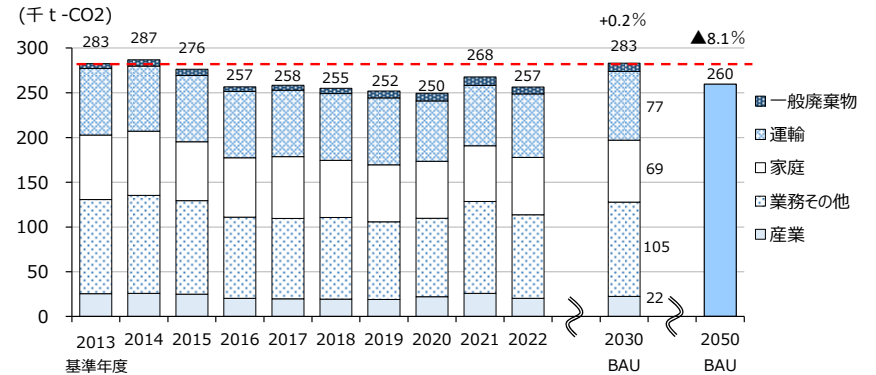
参考：気候変動適応情報プラットフォーム、地球環境研究センター（国立環境研究所）

このまま地球温暖化が進むと、猛暑や大雨、台風の大規模化、渇水や山火事の大規模化、農作物が育たなくなるといった影響が深刻化するため、早急に世界全体で地球温暖化対策に取り組む必要があります。また熱中症対策など暑さへの適応策についても計画を推進する必要があります。

3. 温室効果ガス排出量の状況 (本編P.22～30参照)

本市の活動に由来する温室効果ガス（二酸化炭素）の排出量は増減はあるものの、減少傾向にあります。愛知県全体と比べると、産業の割合が低く、業務その他、家庭、運輸の割合が高いことが本市の特徴です。

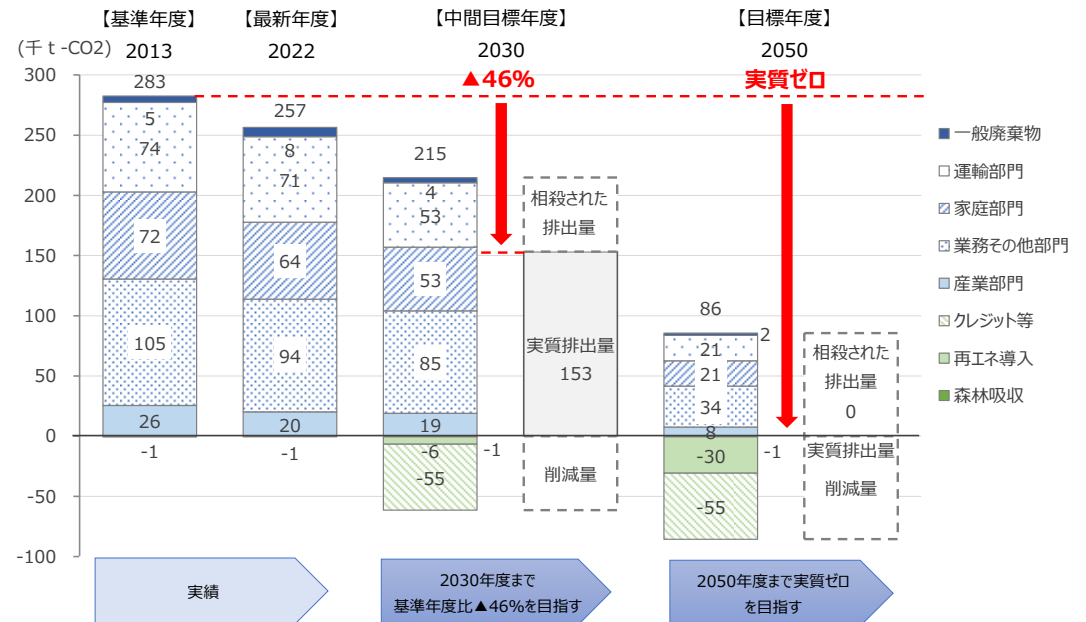
将来の温室効果ガス排出量を推計すると、2030年度のBAU排出量は、2022年度から微増加し、2050年度のBAU排出量は、2013年度から8.1%減少となります。



本市の今後の二酸化炭素排出量の見込み (環境省資料等)

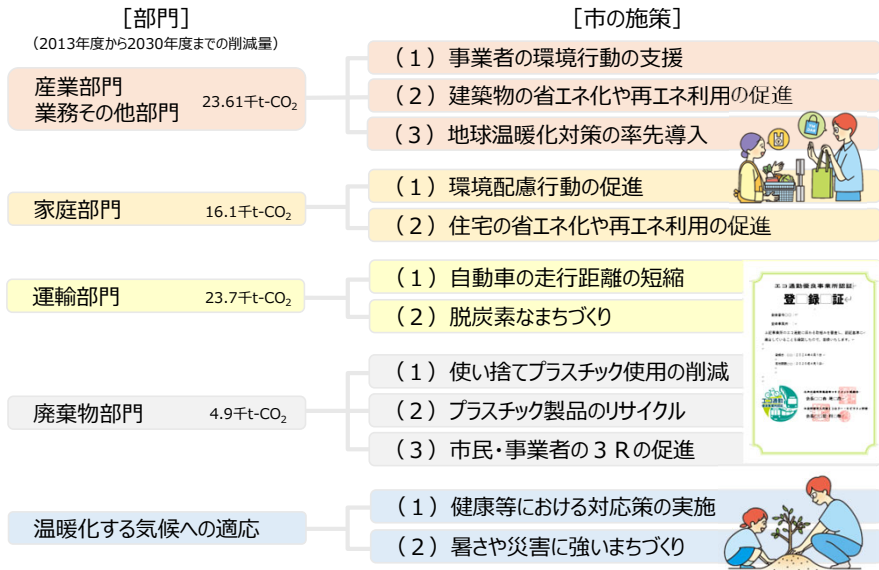
4. 目標 (本編P.32～35参照)

本計画の期間は令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの5年間とします。温室効果ガス排出量削減目標は、2013年度を基準として、2030年度に46%削減、2050年度に実質排出量ゼロを目指します。



本市の二酸化炭素排出削減可能量の内訳 (環境省資料等)

5.市の施策 (本編P.36~49参照)



6.事業者の取組 (本編P.59~63参照)

事業所、工場などから排出される温室効果ガスは、本市の総排出量の1/2に迫る割合を占めており、事業者の積極的な取組が求められます。

- 自社や所属する団体の地球温暖化防止活動等の取組を積極的に発信する。
- 市や地域の団体などが実施する環境イベント等に積極的に参加する。
- 従業員等に地球温暖化防止に関する情報を提供し、研修機会を設ける。
- ★ 冷房や暖房の温度を適切に調整し、緑のカーテン、断熱材、扇風機・サーキュレーターも活用する。
 - 不在時や昼休みの消灯、長期間離席時のパソコン電源オフなどの省エネ行動を実践する。
 - エネルギー消費量を詳細に把握し、各種設定の見直しをして、エネルギー消費の削減に努める。
 - オフィスを新改築する際は省エネ性能の高いものを選ぶ。
 - 資材等の購入に際しては、グリーン購入に努める。
 - 資材の発注や製品の輸配送は、なるべくまとめて効率的に行う。
- ★ 社用車等の unnecessary な利用を控え、公共交通機関等を利用する。
 - 余計な荷物を載せたままにせず、タイヤの点検、整備を行い、燃費の向上に努める。
- ★ ペーパーレス化の推進や資材のロスを削減するように努める。
 - 販売事業者は、レジ袋の削減や包装紙の簡素化、使い捨てのカトラリー等の削減に努める。
 - 販売事業者は、食品トレイやペットボトルなどの店頭回収を推進する。
 - 使用時にエネルギー消費量の少ない製品やリサイクル製品の開発、販売に努める。



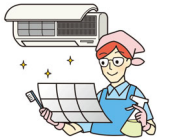
長久手市役所 北庁舎 緑のカーテン (長久手市提供)

★：長久手市が特に重要と考える取組

7.市民の取組 (本編P.50~58参照)

家庭部門、一般廃棄物から排出される温室効果ガスは、本市の総排出量の1/4以上を占めており、市民の積極的な取組が求められます。

- ★ 子どもが関心を持てるよう、家族で地球温暖化防止について話し合う。
 - 家族がひとつの部屋に集まる時間を増やし、エネルギーの節約を図る。
 - 冷房や暖房の温度を調整し、緑のカーテン、断熱材、扇風機も活用する。
 - スマホやタブレットなどのデバイスは、製造に環境負荷がかかるため長く大切に使う。
 - 環境負荷の少ない製品やサービスを利用したり、地元産の農作物の購入を心がける。
 - 家電製品の買い替えや住宅の新改築をする際は、省エネ性能の高いものを選ぶ。
 - 日時指定や店頭、宅配BOXでの受け取りなどにより、宅配便の再配達を減らす。
 - WEB会議やリモートワークを積極的に活用する。
- ★ 自動車の unnecessary な利用を控え、公共交通機関等を利用する。
 - 環境に配慮したエコドライブ(急発進・急ブレーキ・アイドリングの抑制)に努める。
 - 自動車を買う際は、電気自動車などの次世代自動車を購入する。
 - マイボトル、マイバッグ、バイオマスプラスチック製品などのエコ商品を積極的に利用する。
- ★ 市や企業などが実施する環境学習の機会やイベント等に参加する。



環境学習の一環 (ゼロカーボンスクール) (名古屋産業大学提供)

★：長久手市が特に重要と考える取組

3Rを見直しましょう

- リデュース (Reduce)
ごみの発生そのものを減らすため、物を大切に使い、必要以上に買わない。
- リユース (Reuse)
一度使った物を捨てずに、繰り返し使ったり、別の用途で使う。
- リサイクル (Recycle)
使い終わった物を分別回収し、原料として再び製品に生まれ変わらせる。



長久手市ごみ減量キャラクター「あずりー」

8.推進体制 (本編P.64~65参照)

着実な計画の推進のために、**市民・事業者・関係組織(大学・研究組織、各種団体等)**・行政が協働し、長久手市の附属機関である長久手市環境審議会で協議・検討していきます。

編集・発行 長久手市(くらし文化部環境課) 2026年3月策定
住所 長久手市岩作城の内60番地1 電話 0561-63-1111(代表)